

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地



照会先 経営企画部
TEL 079-280-3398(直通)
FAX 079-281-4667

中小企業景気動向調査 2022年10月～12月期 NO. 69

【概況】 2022年10月～12月期の業況は2.2、前期比 6.5ポイントプラスと改善しました。
来期は両地域とも悪化する見通しです。

景気動向調査主要指数D.I（総合）

項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2022年7月 ～9月期	2022年10月 ～12月期	2023年1月 ～3月期予想	2022年7月 ～9月期	2022年10月 ～12月期	2023年1月 ～3月期予想	2022年7月 ～9月期	2022年10月 ～12月期	2023年1月 ～3月期予想
業況	▲ 4.3	2.2	▲ 0.2	▲ 3.3	1.8	0.4	▲ 4.4	0.7	▲ 1.8
売上額	5.3	12.9	6.8	4.0	12.9	7.7	8.3	13.8	4.0
収益	▲ 5.0	5.0	0.3	▲ 8.1	4.0	0.0	0.7	6.9	0.7
販売価格	20.5	21.9	17.2	25.0	23.5	18.0	18.1	19.9	15.6
仕入価格	47.2	47.0	37.8	55.3	50.7	42.3	38.5	41.5	32.7
在庫	▲ 3.8	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 3.4	▲ 2.9	▲ 8.6	▲ 2.5	▲ 3.0
資金繰り	▲ 1.7	▲ 1.3	16.9	▲ 1.8	▲ 1.5	14.0	▲ 1.1	0.0	19.9
人手	▲ 17.4	▲ 16.9	▲ 16.3	▲ 23.1	▲ 25.4	▲ 23.5	▲ 11.3	▲ 9.9	▲ 9.9
設備状況	▲ 9.4	▲ 7.9	▲ 8.6	▲ 9.9	▲ 7.8	▲ 8.3	▲ 9.6	▲ 6.8	▲ 7.4

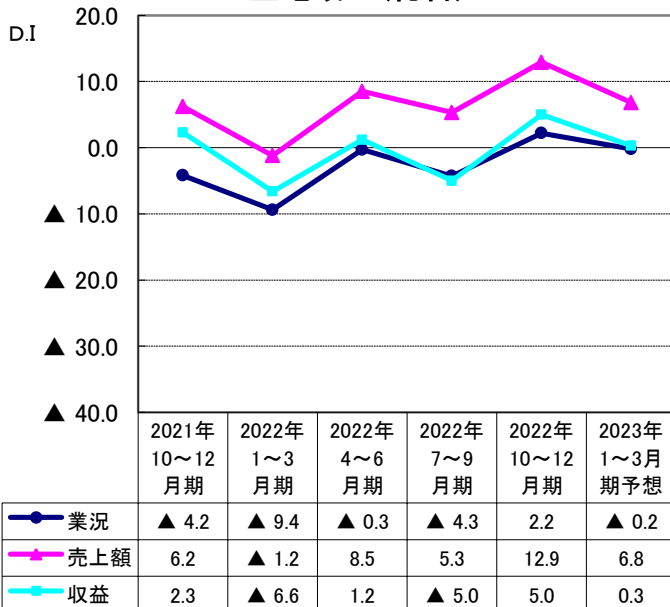
2022年10月～12月期実績

《 全業種で上向き 》
当期の全地域の全業況D.Iは2.2、前期比6.5ポイントプラスと改善しました。全地域の業種別では、全業種において上向きました。

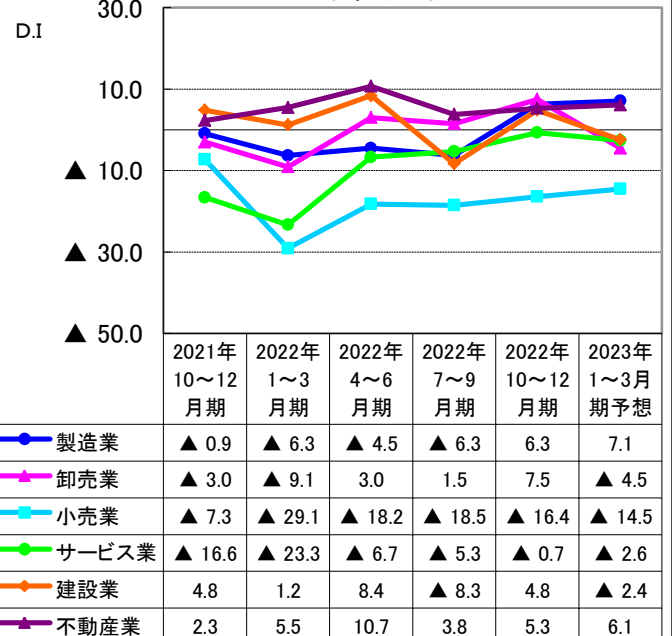
2023年1月～3月期見通し

《 両地域とも悪化する見通し 》
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは▲0.2、当期比2.4ポイントマイナスと厳しさを強める見通しです。全地域の業種別では、製造業、小売業、不動産業において上向き見通しです。地域別では、両地域とも悪化する見通しです。

全地域D.I(総合)



業種別業況D.I



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2022年12月上旬

3. 調査対象期間

2022年10月～12月期実績（2022年7月～9月期との比較）

2023年1月～3月期予想（2022年10月～12月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

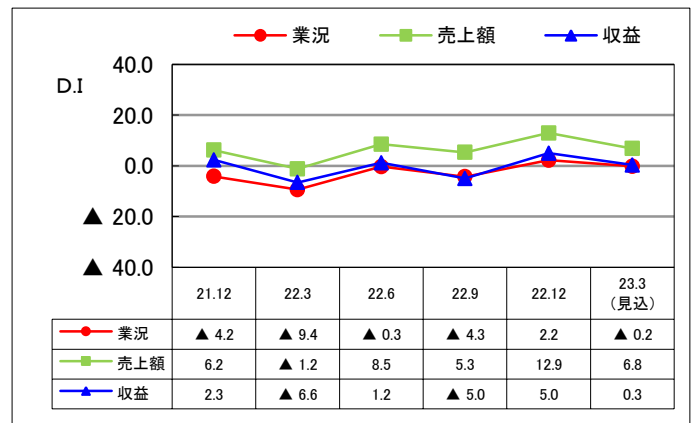
	依頼数	回答数	回答率
製造業	112	112	100.0%
卸売業	67	67	100.0%
小売業	55	55	100.0%
サービス業	151	151	100.0%
建設業	84	84	100.0%
不動産業	131	131	100.0%
合計	600	600	100.0%

本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D.Iは2.2、前期比6.5ポイントプラス（前年同期比+6.4）と改善しました。業種別では、全業種において上向きしました。

来期予想D.Iは▲0.2、当期比2.4ポイントマイナスと厳しさを強める見通しです。業種別では、製造業、小売業、不動産業において上向き見通しです。



2. 売上額

全業種における売上額D.Iは12.9、前期比7.6ポイントプラス（前年同期比+6.7）と好調さを強めました。業種別では、卸売業以外の業種において上向きしました。

来期予想D.Iは6.8、当期比6.1ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。業種別では、小売業において上向き見通しです。

3. 収益

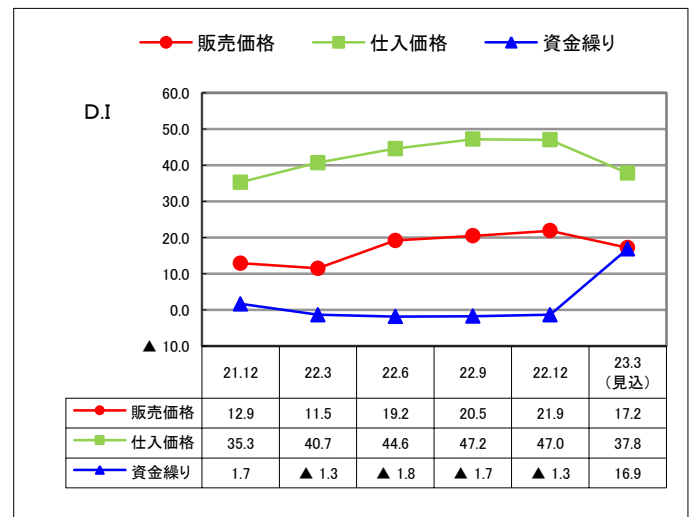
全業種における収益D.Iは5.0、前期比10.0ポイントプラス（前年同期比+2.7）と好転しました。業種別では、全業種において改善しました。

来期予想D.Iは0.3、当期比4.7ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。業種別では、卸売業、小売業、不動産業において改善する見通しです。

4. 資金繰り

全業種における資金繰りD.Iは▲1.3、前期比0.4ポイントプラス（前年同期比 ▲3.0）と厳しさが和らぎました。業種別では、製造業、卸売業、サービス業において和らぎました。

来期予想D.Iは16.9、当期比18.2ポイントプラスと窮屈感を脱する見通しです。業種別では、全業種において和らぐ見通しです。



5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは21.9、前期比1.4ポイントプラス（前年同期比+9.0）と上昇幅が拡大しました。業種別では、卸売業、不動産業において低下しました。

来期予想D.Iは17.2、当期比4.7ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、不動産業において上昇する見通しです。

6. 仕入価格

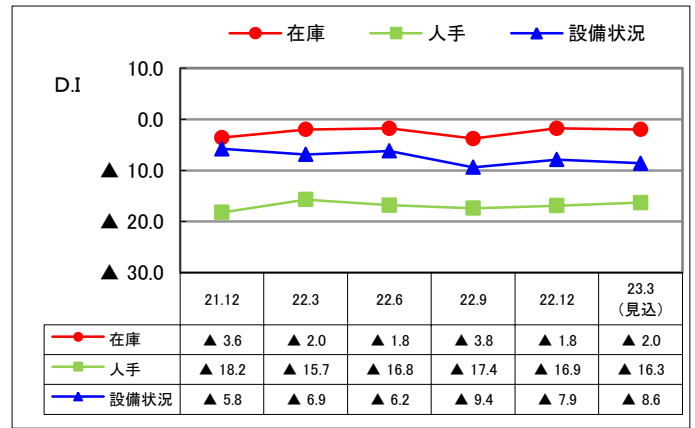
全業種における仕入価格D.Iは47.0、前期比0.2ポイントマイナス（前年同期比+11.7）と上昇幅が縮小しました。業種別では、製造業、不動産業において低下しました。

来期予想D.Iは37.8、当期比9.2ポイントマイナスとさらに上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

7. 在庫

全業種における在庫D.Iは▲1.8、前期比2.0ポイントプラス（前年同期比+1.8）と不足感が改善しました。業種別では、小売業以外で不足感が改善しました。

来期予想D.Iは▲2.0、当期比0.2ポイントマイナスと不足感が強まる見通しです。業種別では、製造業で不足感が強まる見通しです。



8. 人手

全業種における人手D.Iは▲16.9、前期比0.5ポイントプラス（前年同期比+1.3）と不足感が改善しました。業種別では、卸売業、建設業、不動産業で不足感が改善しました。

来期予想D.Iは▲16.3、当期比0.6ポイントプラスとさらに不足感が改善する見通しです。業種別では、製造業、卸売業でさらに不足感が改善する見通しです。

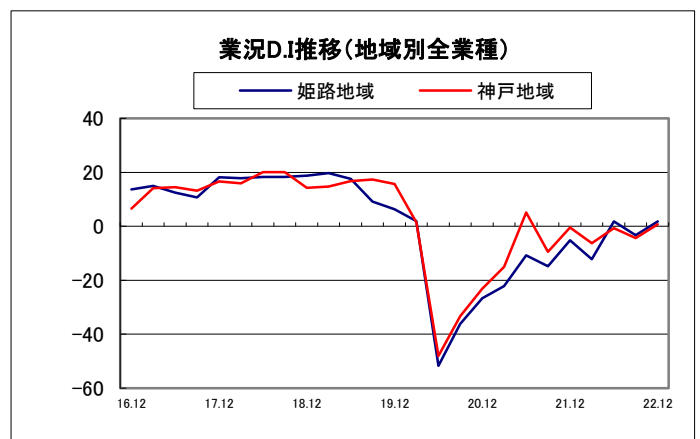
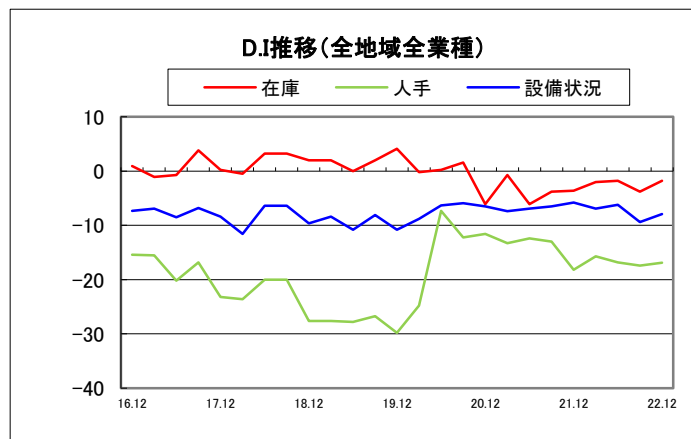
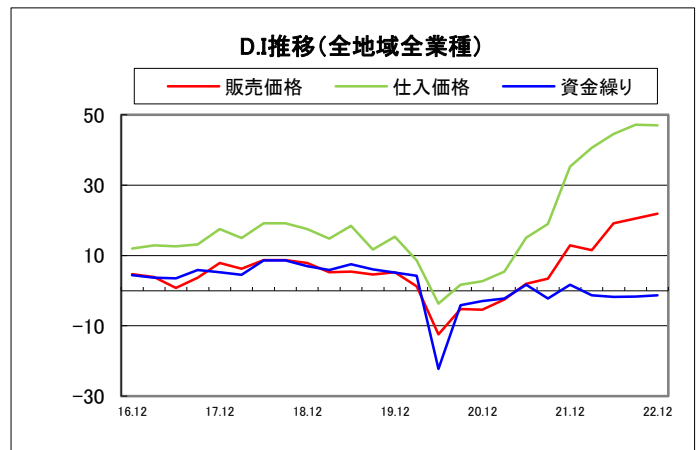
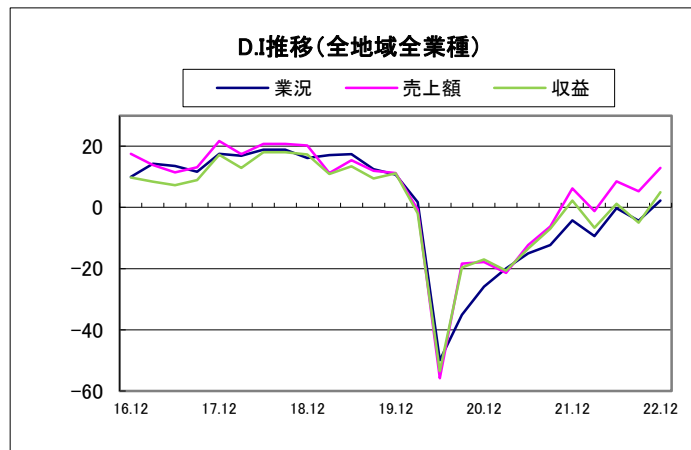
9. 設備状況

全業種における設備状況D.Iは▲7.9、前期比1.5ポイントプラス（前年同期比 ▲2.1）と改善しました。

また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は31.7%、前期比1.1ポイントプラス（前年同期比1.9）と増加しました。また業種別では、卸売業、小売業において設備投資を行った企業の割合が減少しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は33%、当期比増加1.3ポイントプラスと増加する見通しです。

過去D.I推移



地域別景況D.I

□ 全業種総合

(姫路地域) 回答企業324企業 (回答率100.0%)
(神戸地域) 回答企業276企業 (回答率100.0%)

1. 業況

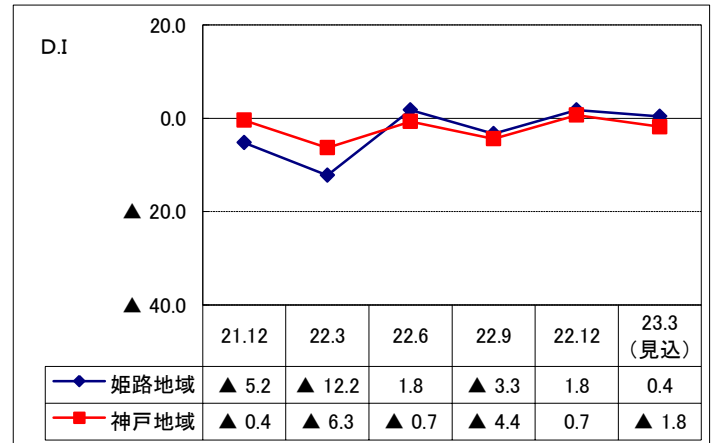
姫路地域の業況D.Iは1.8、前期比5.1ポイントプラス（前年同期比+7.0）と改善しました。

来期予想D.Iは0.4、当期比1.4ポイントマイナスと好調感が後退する見通しです。

神戸地域の業況D.Iは0.7、前期比5.1ポイントプラス（前年同期比+1.1）と改善しました。

来期予想D.Iは▲1.8、当期比2.5ポイントマイナスと厳しさを強める見通しです。

当期の地域別業況は、両地域とも好転しました。



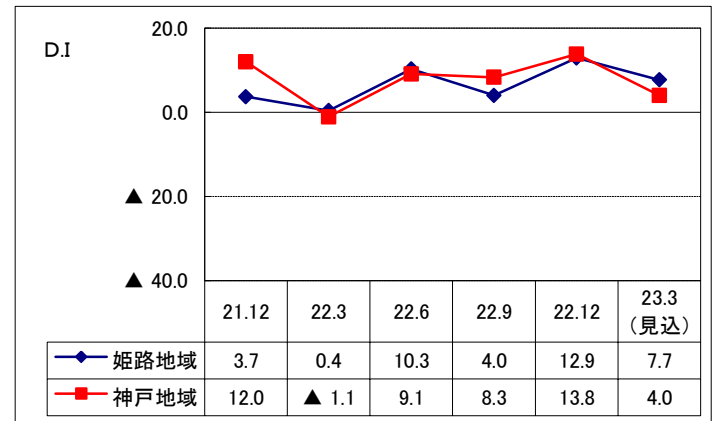
2. 売上額

姫路地域の売上額D.Iは12.9、前期比8.9ポイントプラス（前年同期比+9.2）と好調さを強めました。

来期予想D.Iは7.7、当期比5.2ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。

神戸地域の売上額D.Iは13.8、前期比5.5ポイントプラス（前年同期比+1.8）と好調さを強めました。

来期予想D.Iは4.0、当期比9.8ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。



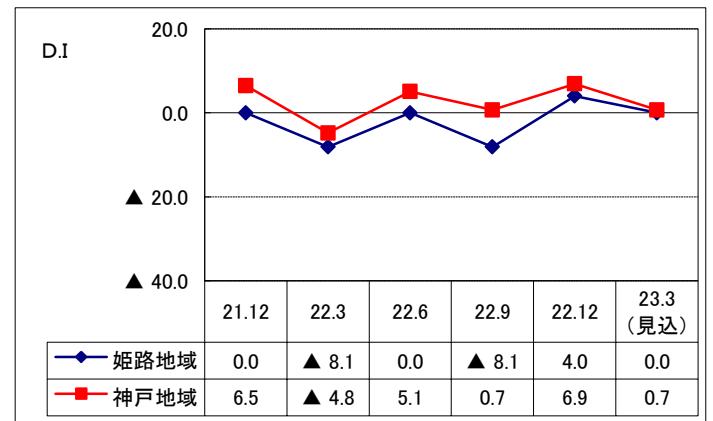
3. 収益

姫路地域の収益D.Iは4.0、前期比12.1ポイントプラス（前年同期比+4.0）と好転しました。

来期予想D.Iは0.0、当期比4.0ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。

神戸地域の収益D.Iは6.9、前期比6.2ポイントプラス（前年同期比+0.4）と好調さを強めました。

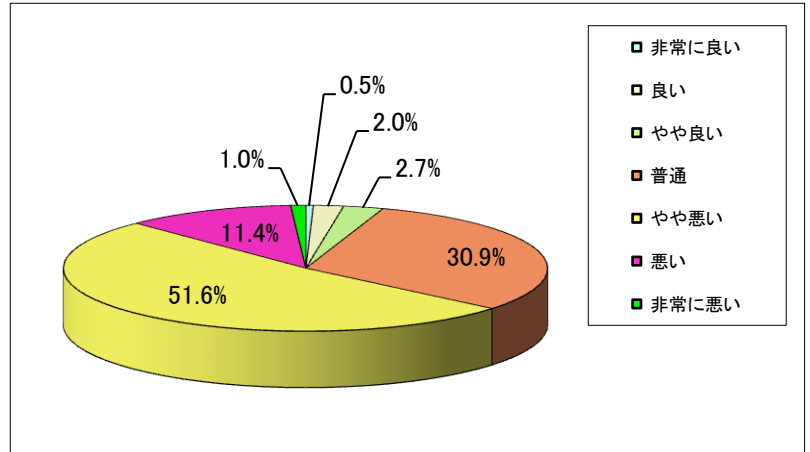
来期予想D.Iは0.7、当期比6.2ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。



2023年（令和5年）の経営見通し

問1 貴社では、2023年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

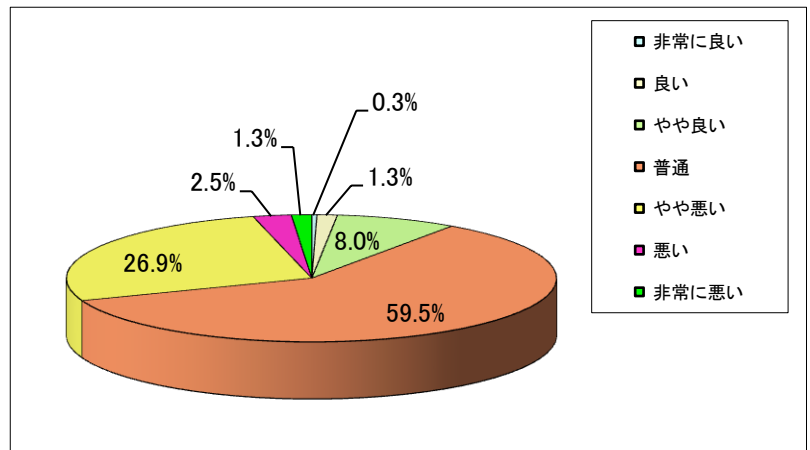
1. 非常に良い
2. 良い
3. やや良い
4. 普通
5. やや悪い
6. 悪い
7. 非常に悪い



「貴社では、2023年の日本の景気をどのように見通していますか」について、最も多い回答は「やや悪い」51.6%、次いで「普通」30.9%、「悪い」11.4%という結果となりました。

問2 貴社では、2023年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

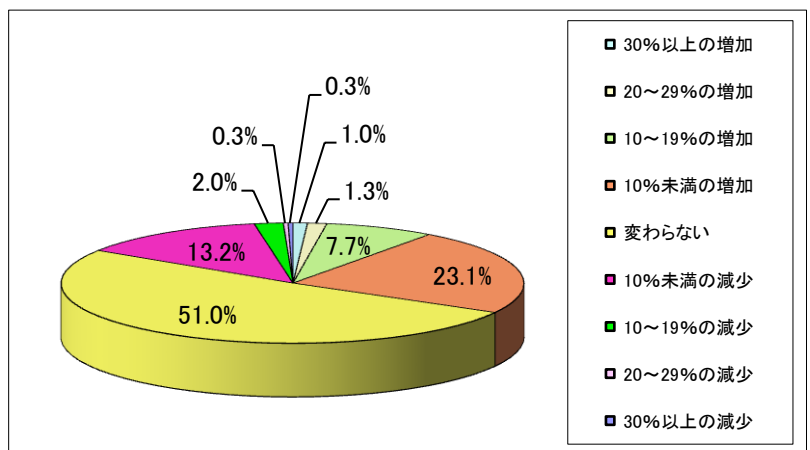
1. 非常に良い
2. 良い
3. やや良い
4. 普通
5. やや悪い
6. 悪い
7. 非常に悪い



「貴社では、2023年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか」について、最も多い回答は「普通」59.5%、次いで「やや悪い」26.9%、「やや良い」8.0%という結果となりました。

問3 2023年において貴社の売上額の伸び率は、2022年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

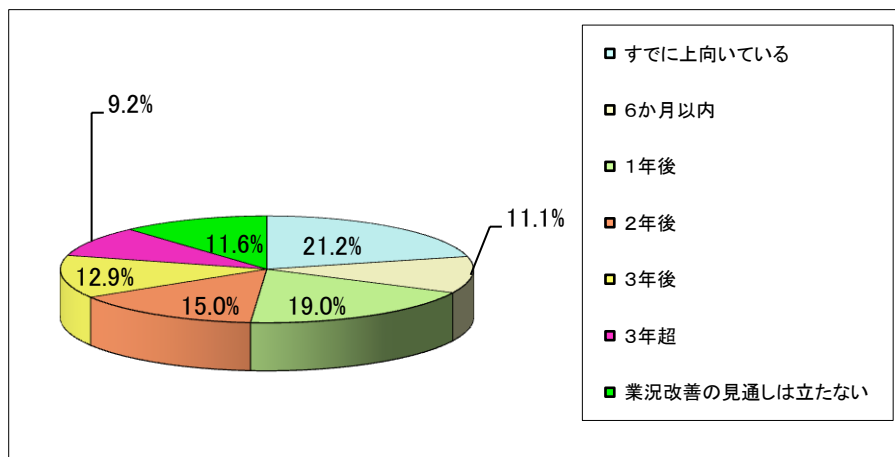
1. 30%以上の増加
2. 20～29%の増加
3. 10～19%の増加
4. 10%未満の増加
5. 変わらない
6. 10%未満の減少
7. 10～19%の減少
8. 20～29%の減少
9. 30%以上の減少



「2023年において貴社の売上額の伸び率は、2022年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか」について、最も多い回答は「変わらない」51.0%、次いで「10%未満の増加」23.1%、「10%未満の減少」13.2%という結果となりました。

問4 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

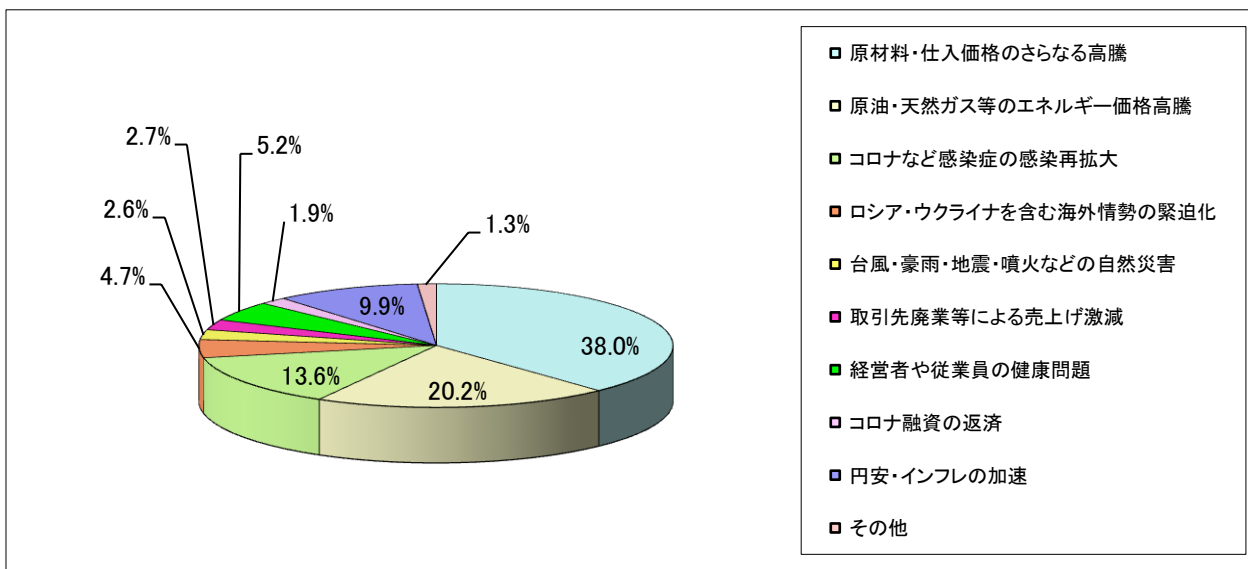
1. すでに上向いている
2. 6か月以内
3. 1年後
4. 2年後
5. 3年後
6. 3年超
7. 業況改善の見通しは立たない



「貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか」について、最も多い回答は「すでに上向いている」21.2%、次いで「1年後」19.0%、「2年後」15.0%という結果となりました。

問5 2023年の事業環境を展望したとき、貴社にとっての経営リスクは何ですか。最も当てはまるものを1～9から3つ以内で選んでお答えください。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 原材料・仕入価格のさらなる高騰 | 6. 取引先廃業等による売上げ激減 |
| 2. 原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰 | 7. 経営者や従業員の健康問題 |
| 3. コロナなど感染症の感染再拡大 | 8. コロナ融資の返済 |
| 4. ロシア・ウクライナを含む海外情勢の緊迫化 | 9. 円安・インフレの加速 |
| 5. 台風・豪雨・地震・噴火などの自然災害 | 0. その他 |



「2023年の事業環境を展望したとき、貴社にとっての経営リスクは何ですか」について、最も多い回答は「原材料・仕入価格のさらなる高騰」38.0%、次いで「原油・天然ガス等のエネルギー価格高騰」20.2%、「コロナなど感染症の感染再拡大」13.6%という結果となりました。